

矢野靖二, 山岸高由: 富山市医師会健康管理センター細菌室で検出された下痢原因菌と推定される分離菌について. 第21回中部臨床衛生検査学会, 1984, 9, 富山.

6) 大門良男, 角田美鈴, 松田正毅, 桜川信男, 山岸高由, 小西健一: 臨床材料から分離された肺炎球菌の同定について. 第31回日本臨床病理学会総会, 1984, 9, 金沢.

7) 坂本憲市, 山岸高由, 河合幸一郎, 小西健一: 腸内細菌の抗腫瘍活性に関する研究 (第2報) in vitro-in vivo 系による検討. 第21回日本細菌学会中部支部総会, 1984, 11, 名古屋.

8) 山岸高由, 久保義博, 林 君枝, 坂本憲市, 水田龍信, 小西健一: 水由来ウエルシュ菌のエンテロトキシン産生性と芽胞形成性について. 第21回日本細菌学会中部支部総会, 1984, 11, 名古屋.

◆ その他

1) 小西健一, 山岸高由, 坂本憲市, 林 君枝, 久保義博: 水の汚染指標としてのウエルシュ菌の意義. 科研費特別研究「環境科学」研究広報, 29: 135, 1984.

ウ イ ル ス 学

教 授	庭 山	清八郎
助 授	落 合	宏 子
助 手	林	京 子
助 手	笠 木	徳 三 夫
文部技官	中 川	明 夫

◆ 原 著

1) 芝田充男, 浅野礼子, 上村 桂, 佐藤征也, 岩瀬勇雄, 落合 宏, 庭山清八郎: 一元放射補体結合 (SRCF) 試験を用いたインフルエンザワクチン効果の判定. 臨床とウイルス 12: 182~186, 1984.

2) 金沢 裕, 庭山清八郎: オウム病—とくに感染源と化学療法について. 感染症 14: 29~36, 1984.

3) 庭山清八郎, 落合 宏, 林 京子: インフルエンザウイルスのNS蛋白について. 乳酸菌研究会に関する報告書: 262~264, 1984.

4) Ochiai H., Niwayama S., Shibata M.: Studies on the Correlation between Neutralizing (NT) and Hemagglutination Inhibition (HI) antibody Titers and Age Distribution of HI Antibody to Parainfluenza Viruses. Acta Medica et

Biologica 32: 83~89, 1984.

◆ 総 説

1) 庭山清八郎: かぜ症候群ウイルスの種類と性質. 「薬局」, 35, 7~17, 南山堂, 1984.

◆ 学会報告

1) 金沢 裕, 徐慶一郎, 庭山清八郎: オウム病の臨床経験 (続報) —とくにX線像を含む臨床所見について—. 第58回日本感染症学会総会, 1984, 4, 東京.

2) 館崎慎一郎, 辻 陽雄, 松井寿夫, 八島省吾, 落合 宏: Dunn 骨肉腫細胞の分化誘導に関する基礎的研究 (第1報). 第57回日整会, 1984, 6, 札幌.

3) 芝田充男, 落合 宏, 庭山清八郎, 佐藤征也, 元田昭策, 山内豊蔵, 岩瀬勇雄: 1984年分離インフルエンザA (H₁N₁) 型ウイルスの抗原分析. 第32回日本ウイルス学会総会, 1984, 7, 札幌.

4) 芝田充男, 佐藤征也, 元田昭策, 山内豊蔵, 岩瀬勇雄, 落合 宏, 庭山清八郎: インフルエンザワクチンの予防効果. 第32回ウイルス学会総会, 1984, 7, 札幌.

5) 佐藤征也, 元田昭策, 岩瀬勇雄, 落合 宏, 庭山清八郎: インフルエンザウイルスの増殖におけるレクチンの影響. 第32回日本ウイルス学会総会, 1984, 7, 札幌.

6) 齊藤光和, 真保 俊, 小田切治世, 加藤 博, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 落合 宏, 中川明夫, 庭山清八郎: 培養ヒト食道癌細胞の増殖におよぼすレクチンの影響について. 第2回ヒト細胞研究会, 1984, 8, 東京.

7) Motoda S., Sato S., Shibata M., Ochiai H., Niwayama S. and Iwase I.: Passive Hemagglutination Test for Detecting Rubella virus Antibody. The 6th International Congress of Virology, 1984, 9, Sendai.

8) Sato S., Motoda S., Shibata M., Ochiai H., Niwayama S., Iwase I. and Jo K.: Evaluation of SRCF Test in the Diagnosis of Influenza Infection. The 6th International Congress of Virology, 1984, 9, Sendai.

9) 落合 宏, 佐藤征也, 元田昭策, 庭山清八郎, 芝田充男: A型インフルエンザワクチン効果の実際. 第6回北陸ウイルス病研究会, 1984, 10, 金沢.

10) 齊藤光和, 真保 俊, 唐木芳昭, 藤巻雅夫, 落合 宏, 中川明夫, 庭山清八郎: 培養ヒト食道癌細胞の増殖におよぼすレクチンおよびインフルエンザウイルス HA の影響について. 第21回日本細菌学

会中部支部総会, 1984, 11, 名古屋.

11) 佐藤征也, 元田昭策, 落合 宏, 庭山清八郎, 芝田充男, 寺田友次, 岩瀬勇雄: レクチン処理羊赤血球を用いた一元放射溶血 (SRH) 法. 1. インフルエンザウイルス HI および NI 抗体と SRH 法による抗体検出の相関. 第21回日本細菌学会中部支部総会, 1984, 11, 名古屋.

12) 芝田充男, 佐藤征也, 元田昭策, 寺田友次, 岩瀬勇雄, 落合 宏, 庭山清八郎: レクチン処理羊赤血球を用いた一元放射溶血 (SRH) 法. 2. インフルエンザ A (H₁N₁) 型流行時における血清診断への応用. 第21回日本細菌学会中部支部総会, 1984, 11, 名古屋.

13) 落合 宏, 元田昭策, 佐藤征也, 中川明夫, 庭山清八郎, 芝田充男, 岩瀬勇雄: フェノチアジン系薬剤のインフルエンザウイルス増殖におよぼす影響について. 第21回細菌学会中部支部総会, 1984, 11, 名古屋.

14) 元田昭策, 佐藤征也, 落合 宏, 庭山清八郎, 芝田充男, 寺田友次, 岩瀬勇雄: リボソームを用いた免疫測定法の基礎的研究. 第21回日本細菌学会中部支部総会, 1984, 11, 名古屋.

薬 理 学

教授 中西 穎 央
助教授 武田 龍 司
助手 百瀬 弥寿徳
助手 山崎 弘 美
文部技官 西口 慶 子

◆ 著 書

1) 中西穎央: アルコールの薬理作用. 「アルコール・薬物依存」栗山欣弥編, 79—87, 金原出版, 1984.

2) Shibata E. F., Momose Y. and Giles W. : Nitrendipine actions on atrial tissue in the heart, In Nitrendipine, by Scribner A. (Ed.), 199—208, Urban and Schwarzenberg, Baltimore, 1984.

◆ 原 著

1) Momose Y., Giles W. and Szabo G. : Acetylcholine-induced K⁺ current in amphibian atrial cells, Biophys. J. 45 : 20—23, 1984.

2) Shiohara E., Yamazaki H., Nishiguchi K., Miyamoto R. and Nakanishi S. : Subcellular aldehyde dehydrogenase activity and acetaldehyde oxidation by isolated intact mitochondria of

rat brain and liver after acetaldehyde treatment, Toxicology 30 : 25—30, 1984.

3) Takeda R., Momose Y. and Nakanishi S. : Effects of ethanol on calcium and potassium currents in single bullfrog atrial cells, Jap. J. Pharmacol. 36 : 422—424, 1984.

4) Shiohara E., Yamazaki H., Nishiguchi K., Miyamoto R. and Nakanishi S. : Effect of prolonged ethanol consumption on (Na⁺ + K⁺)-ATPase activity of rat brain membranes, Jpn. J Alcohol & Drug Dependence 19 : 302—308, 1984.

◆ 学会報告

1) Shibata E. F., Momose Y. and Giles W. : An electrogenic Na⁺/K⁺ pump current in individual bullfrog atrial myocytes, 28th Biophysical Society Meeting, 1984, 2, San Antonio.

2) 山崎弘美, 西口慶子, 宮元玲子, 中西穎央: アルコール嗜好性および非嗜好性マウスの脳細胞下アルデヒド脱水素酵素活性に及ぼす light-dark cycle の影響. 第57回日本薬理学会総会, 1984, 3, 京都.

3) 百瀬弥寿徳, 武田龍司: カエル心房筋単一細胞における K チャンネルについて. 第57回日本薬理学会総会, 1984, 3, 京都.

4) Remmers J. E., Takeda R., Schultz S. A. and Haji A. : Relationship of membrane potential of ventral respiratory group neurons to action potentials of retro-facial respiratory units, International Symposium on Neurogenesis of Central Respiratory Rhythm, 1984, 8, Marseille.

5) Takeda R., Remmers J. E., Baker J. P., Madden K. P. and Farber J. P. : Post-synaptic potentials of the bulbar respiratory neurons of the turtle, International Symposium on Neurogenesis of Central Respiratory Rhythm, 1984, 8, Marseille.

6) 山崎弘美, 西口慶子, 宮元玲子, 中西穎央: マウス脳ならびに肝アルデヒド脱水素酵素活性の日内変動: 系統差および性差. 第19回日本アルコール医学会総会, 1984, 9, 浜松.

7) 武田龍司, 百瀬弥寿徳: 心房筋単一細胞の Ca および K 電流に及ぼすアルコールの影響. 第19回日本アルコール医学会総会, 1984, 9, 浜松.

8) Takeda R., Remmers J. E., Baker J. P., Madden K. P. and Farber J. P. : Post-synaptic potentials of the bulbar respiratory neur-